【 国家基本政策委員会 】

(1) 審議概観

第154回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を３回開き討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会合同審査会は、３回開かれ、鳩山由紀夫君、志位和夫君、小沢一郎君（第１回のみ）、土井たか子君が発言者となって、小泉内閣総理大臣との間で討議が行われた。

４月10日の合同審査会（第１回）では、池田行彦衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、ＢＳＥ問題における武部農相の責任、鈴木宗男議員辞職勧告決議案への対応、外務省機密費上納問題をめぐる田中前外相発言、公共事業受注企業からの政治献金の禁止、パレスチナ問題での日本の態度、衆議院の早期解散、北方領土をめぐる日露交渉、有事法制の必要性等について討議が行われた。

６月12日の合同審査会（第２回）では、広中和歌子参議院国家基本政策委員長が会長を務め、米核戦略の変化への対応、核に関する福田官房長官発言、公共事業受注企業からの政治献金の禁止、あっせん利得処罰法への取組、防衛庁の情報公開請求者リスト作成問題、政治一新のための衆議院解散等について討議が行われた。

７月17日の合同審査会（第３回）では、池田行彦衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、ジェニン虐殺疑惑の調査、国際刑事裁判所条約の署名・批准、個人情報保護法案廃案の必要性、住民基本台帳ネットワークの凍結・延期、雇用保険料の値上げ、国民の社会保障負担増に伴う経済への影響、非核三原則の法制化等について討議が行われた。

(2) 委員会経過

○平成14年２月20日（水）（第１回）

○国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。

○国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。

○平成14年４月10日（水）（合同審査会 第１回）

○国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君、小沢一郎君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成14年６月12日（水）（合同審査会 第２回）

○国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成14年７月17日（水）（合同審査会 第３回）

○国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、志位和夫君及び土井たか子君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。